

# ● 最近の県内経済

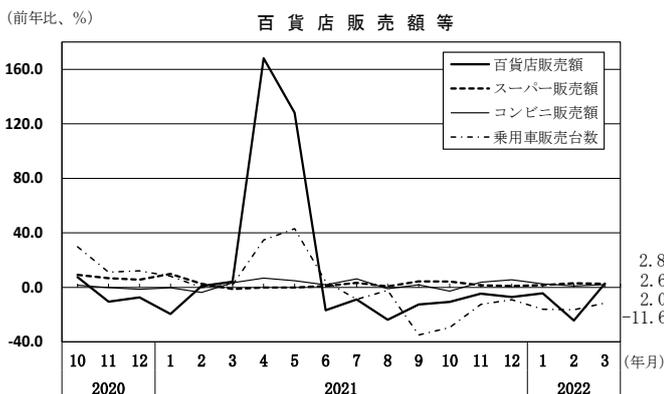
(2022年3月を中心として)

2022年5月27日

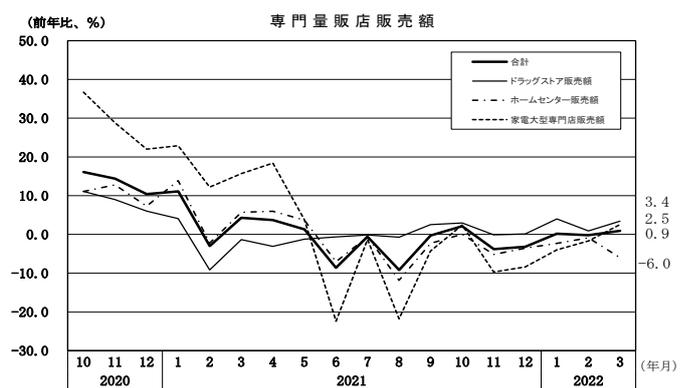
## 今月の概要

個人消費を中心に停滞している。

## 1 個人消費 引き続き停滞しているとみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

個人消費は、昨年末以降停滞している。

3月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が145億円で前年比2.8%増（10か月ぶりの増加）、スーパーは982億円で同2.6%増（10か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売も543億円で同2.0%増と、5か月連続の増加となった。

乗用車販売は、前年比11.6%減と9か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車（同8.7%減）は7か月連続の減少となったほか、小型車（同13.8%減）、軽乗用車（同13.3%減）は、いずれも10か月連続の減少となった。

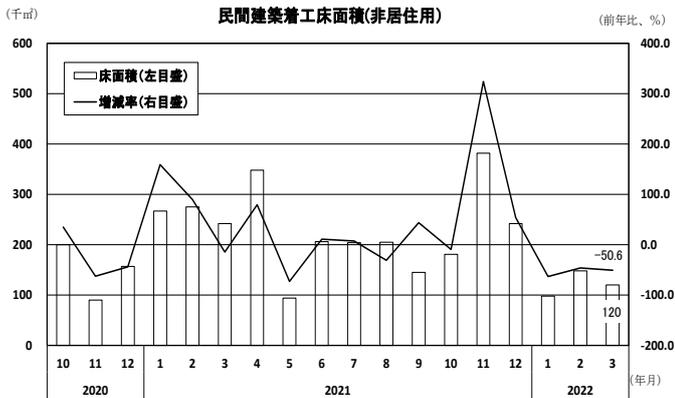
百貨店やスーパー、コンビニにおいては、まん延防止等重点措置の解除による外出機会の増加などが売上に寄与した。

3月の専門量販店販売額は、764億円で前年比0.9%増となった。内訳をみると家電大型専門店が203億円で同2.5%増（5か月ぶりの増加）、ドラッグストアが391億円で同3.4%増（4か月連続の増加）、ホームセンターが170億円で同6.0%減（5か月連続の減少）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、2月〈35.7〉、3月〈32.8〉、4月〈32.2〉で推移している。

## 2 設備投資

基調として持ち直している



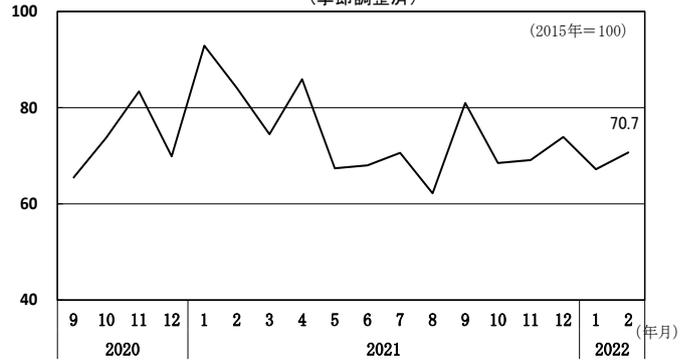
(資料)国土交通省

旺盛な半導体関連需要やEコマース関連需要に加えて、コロナ禍で見送りの案件の実行も幅広い業種でみられる。

3月の民間建築着工床面積(非居住用)は、120千㎡で前年比50.6%減となった(5か月後方移動平均でも前年比4.0%減)。

用途別にみると、事務所が増加したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所はいずれも減少した。

## 資本財出荷指数 (季節調整済)

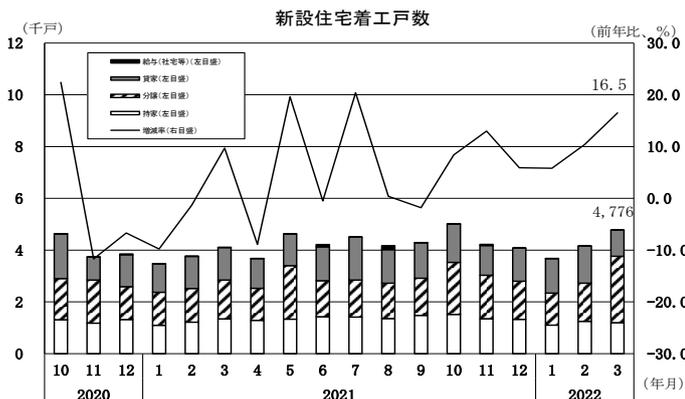


(資料)埼玉県

2月の資本財出荷指数(季節調整済)は70.7で、前月比5.2%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比2.1%減)。

## 3 住宅建設

持ち直している



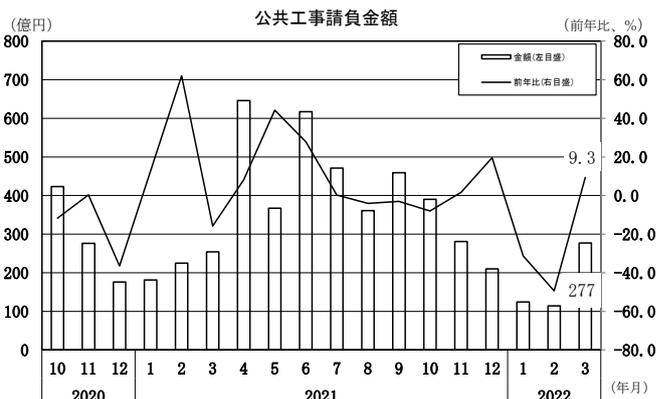
(資料)国土交通省

コロナ禍で低調だった前年の反動増に加え、郊外で広い家を求める動きもあって、持ち直している。

3月の新設住宅着工戸数は、4,776戸で前年比16.5%増と6か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では10.5%増、11か月連続の増加)。利用関係別にみると、持家(1,195戸)が同10.9%減、貸家(1,009戸)が同19.7%減となったものの、分譲マンション(1,237戸)が同270.4%増、分譲一戸建(1,330戸)が同15.1%増とそれぞれ増加した。

## 4 公共工事

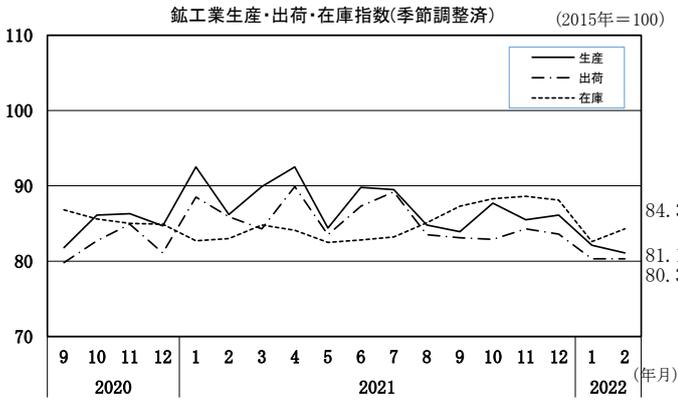
弱含んでいる



(資料)東日本建設業保証株式会社

政府の2020年度補正予算において、大幅上積みされた公共事業関係費の一巡から弱含んでいる。

3月の公共工事請負額は、期末の駆け込み発注もあり、277億円、前年比9.3%増となったが、5か月後方移動平均では前年比9.5%減と依然として水面下。発注者別で見ると、独立行政法人等、市区町村は減少したものの、国、都道府県地方公社はそれぞれ増加した。



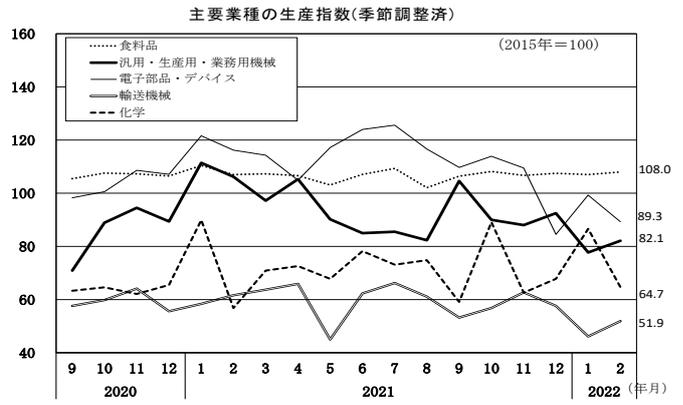
(資料)埼玉県

中国の景気減速を受けた輸出の鈍化や半導体不足を受けた自動車の減産の影響を受けて、このところやや弱含んでいる。

2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、81.1で前月比1.2%低下(2か月連続の低下)。情報通信機械(カーナビゲーション、その他の陸上移動通信装置)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇したが、化学(医薬品、印刷インキ)、電子部品・デバイス(混成集積回路、光電変換素子)などが低下した。

出荷指数(同)は、80.3で同0.6%上昇(3か月ぶりの上昇)。電気機械(電力変換装置、開閉制御装置)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが低下したが、業務用機械(試験機、パチンコ)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが上昇した。

在庫指数(同)は、84.3で同2.1%上昇した(3か月ぶりの上昇)。パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、特殊印刷用紙)、電子部品・デバイス(光電変換素子、混成集積回路)などが低下したが、生産用機械(整地機械、マシニングセンタ)、輸送機械(乗用車、普通トラック)などが上昇した。



(資料)埼玉県

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、108.0で前月比0.9%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、82.1で同5.6%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

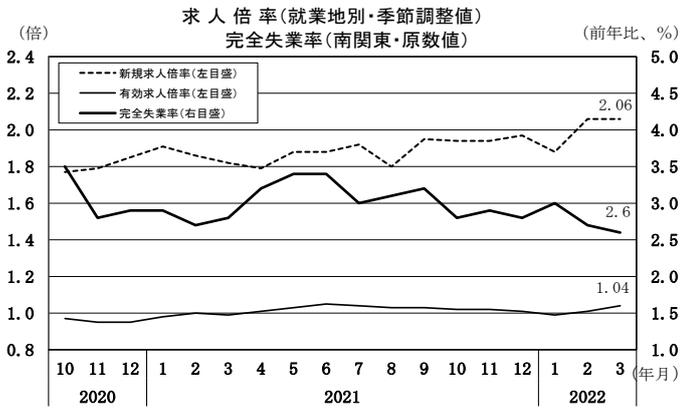
◆ 電子部品・デバイス(同)は、89.3で同10.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。

◆ 輸送機械(同)は、51.9で同12.6%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

◆ 化学(同)は、64.7で同25.3%低下し、3か月ぶりの低下となった。

## 6 雇用情勢

持ち直しの動きがみられる



(資料)厚生労働省、総務省

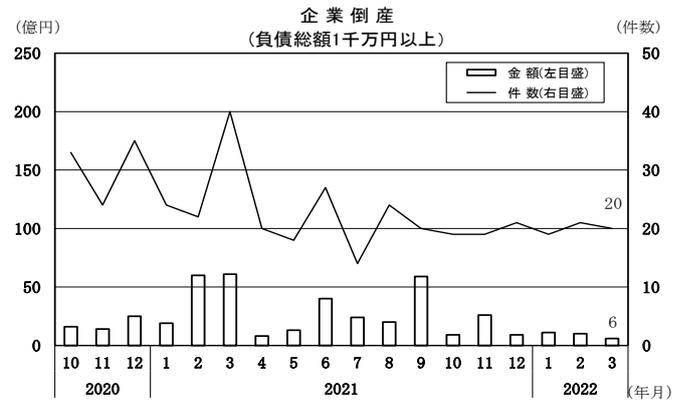
2020年春以降のコロナ感染拡大に伴い、対面型サービスを中心に経済活動が抑制されていたが、ここに来て持ち直しの動きがみられる。

3月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.04倍で前月比0.03ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.06倍で前月比横ばいに推移した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.2ポイント低下した(前年同月比3か月ぶりの低下)。

## 7 企業倒産

低水準で推移



(資料)帝国データバンク

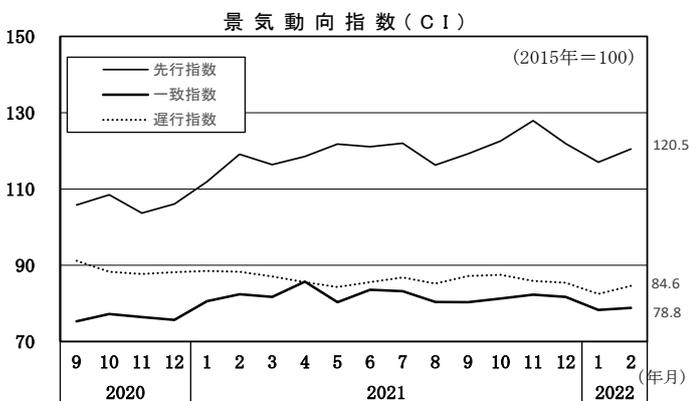
コロナ対策としての政府の資金繰り支援策もあって、低水準で推移している。

3月の企業倒産件数は、20件で前年同月比20件の減少となった。負債総額は6億円で同55億円の減少となった(5か月後方移動平均でも、件数は前年比31.0%減、金額は65.2%減)。

業種別にみると、建設業が最多で5件、次いで製造業、小売業、サービス業がそれぞれ4件と続いている。主因別では、販売不振が19件となっている。

## <参考>

景気動向指数(CI) 足踏みを示している



(資料)埼玉県

2月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、78.8で前月比0.5ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、120.5で同3.5ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、84.6で同2.1ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。